

《履修上の留意事項》教科書は使用せず、資料はすべて電子化したものを各自ダウンロードすることとする。紙資料の配布予定はない。

《担当者名》上河邊 力（非）

【概要】

心理学では、こころと行動の関連を明らかにすることを目的とする。本講義では、保健・医療・福祉分野で必要とされる心理学と心理的支援に関する基礎的な知見を脳科学の基本的知識と関連づけながら概説する。

【学修目標】

- ・心理学の基本的な用語や定義を正しく説明することができる。
- ・介護実践を含む保健・医療・福祉分野で必要とされる観察力、判断力の基盤となる人間の心理について理解し説明することができる。
- ・環境との相互作用の中で生じる心理的反応を理解する。
- ・自己、他者、集団の行動や心理を、心理学の知見に基づいて説明することができる。
- ・人間のこころの成長と発達に関する心理学的知見をもとに、ライフサイクル（乳幼児期、児童期、思春期、青年期、成人期、老年期）の各期を説明することができる。
- ・人生の最終段階や大きな障がいを負った場合のこころのあり方について、アセスメントを含む心理的支援を意識した心理学的観点から説明することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	導入	心理学とは何か理解し、説明できる。  心理学についての誤解 心理学の方法 心理学の歴史	上河邊
2	パーソナリティー	性格とは何か、何が性格を決定づけるのか、どのようにして性格を測定するのかについて、基本的事項を理解し説明できる。	上河邊
3	知能	知能とは何か、何が知能を決定づけるのか、どのようにして知能（IQ）を測定するのかについて、基本的事項を理解し説明できる。	上河邊
4	知覚I	人間の知覚、特に視知覚について扱う。代表的な錯視とその仕組み、視知覚の障害について基本的事項を理解し、説明できる。	上河邊
5	知覚II	人間の知覚、特に聴覚と触覚について扱う。聴覚や触覚の障害について基本的事項を理解し、説明できる。	上河邊
6	学習	多くの生物種に共通の単純な学習や、古典的条件づけ、道具的条件づけについて基本的事項を理解し、人間を含む動物がどのようにして物事を学習していくかについて説明できる。	上河邊
7	学習	より高次な学習である観察学習、洞察学習、知覚運動学習について基本的事項を理解し、説明できる。	上河邊
8	発達I	幼児期から老年期に至るまでの代表的な発達段階や発達理論、心理的な側面から見た子育てについて基本的事項を理解し、説明できる。	上河邊
9	発達II	注意欠如多動症（AD/HD）や自閉スペクトラム症（ASD）といった代表的な発達障害の基本とその支援方法について基本事項を理解し、説明できる。	上河邊

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
10	記憶と忘却	人がどのようにして物事を記憶し、そして忘れてしまうのか。どうすれば勉強した内容や見聞きした場合を記憶に残しやすくなるのかについて基本事項を理解し、説明できる。	上河邊
11	社会行動	人との関わりの中で、人間はどのようにして相手に好意を持つのか、偏見や差別はどのようにして生まれるのか、集団の中で人間が判断を誤ってしまうのはなぜかといった事柄について基本事項を理解し、説明できる。	上河邊
12	感情	さまざまな感情と、感情の理論、感情が行動に及ぼす影響について、基本事項を理解し、説明できる。	上河邊
13	ストレス	人間がストレスを感じる仕組みとストレスにうまく対処する方法について基本事項を理解し、説明できる。	上河邊
14	臨床心理学I	精神分析、クライエント中心療法、認知行動療法といった臨床心理学におけるさまざまな学派について、その違いとそれぞれの特色を理解し、説明できる。	上河邊
15	臨床心理学II	うつや不安といった代表的な心の問題について取り上げ、その予防や治療について基本事項を理解し、説明できる。	上河邊

#### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

#### 【評価方法】

定期試験100%

#### 【教科書】

教科書は使用せず適宜スライド資料を配布する

#### 【参考書】

心理学への招待 [改訂版] ・梅本 堯夫など・（サイエンス社）  
誠信 心理学辞典 [新版] ・下山 晴彦など・（誠信書房）

#### 【備考】

この科目は、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「心理学理論と心理的支援」および介護福祉士国家試験受験資格取得のための「こころとからだのしくみ」に該当する。

#### 【本科目のICTの活用の状況】

1. 学習教材（授業資料）の配信、学習課題の提示
  - ・授業資料の配布は、google class roomを利用する。
  - ・学習課題の提示は、google class roomを利用する。
2. 授業時間中にその場で学生の理解度を把握する技術の活用
  - ・Mentimeterを使用して、学生の意見を把握し、集まった意見に対するフィードバックを行う。
  - ・クリッカーやgoogle formを利用して、適宜学生の理解度を把握する。
3. 資料はすべて電子化したものとし、紙資料の配布予定はない。

#### 【学修の準備】

予習：各回の「授業内容および学習課題」に挙げられているキーワードについて、配付資料、参考書、インターネットなどを利用して事前に予習を行う。（2時間）

復習：学習内容を自分の言葉でまとめる。配付資料、参考書の当該部分を精読し、講義中に触れられなかった内容の補完や講義内容との統合を行うこと（2時間）。

#### 【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：看護・福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学

術的・実践的能力を身につけている。

**【実務経験】**

医療機関（精神科・児童精神科）主任心理師  
札幌市スクールカウンセラー  
臨床心理士、公認心理師

**【実務経験を活かした教育内容】**

精神科および教育機関における実務経験を活かし、可能な限り具体的に基礎から応用に及ぶ教育内容と臨床場面との関連について言及する。